



第三次入学試験問題 [小論文] 解答例・出題の意図

コース：授業実践力向上コース

---

【出題の意図】

本問は、近年社会的課題となっている「ヤングケアラー」の問題に関し、これの対応するための指針を示すべく、文部科学省と厚生労働省の連携によって組織されたプロジェクトチームによる報告書、「ヤングケアラーの支援に向けた福祉・介護・医療・教育の連携プロジェクトチーム報告（令和3年5月）」からの出題となっている。今後、学校教育において「ヤングケアラー」の状態にある児童・生徒に対応する立場として、一般的な学校の教員に具体的にどのような手立てが考えられるのか、受験生に考えさせる問題である。

期待される答えとして、まずこれを現代における喫緊の社会的課題としての的確に認識できているかが問われる。そのうえで、こうした事象が生じたときに適切な緊急的対応が取れるか、さらに（管理職に相談するなど）学校としての組織的対応に移行できるか、といった初期段階の対応姿勢が求められる。これは学校内におけるカリキュラムマネジメントの課題である。さらに次の段階としては、こうした課題を地域における福祉行政機関との連携課題としてイメージできるかが問われる。ここにおいてSSW（スクールソーシャルワーカー）など、学校教育支援専門職への言及があればなお良い。また最終的に、教員としての受験者自身の立場と、社会における「ヤングケアラー」問題との関係性にまで論議が及ぶことが望ましい。